

平成 23 年 5 月 20 日  
国土交通省 都市・地域整備局  
下水道部 下水道企画課

## 下水道革新的技術実証事業の実施事業の決定について

国土交通省では、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業における温室効果ガス排出量及び建設コストの大幅削減を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)を実施します。本プロジェクトでは、①水処理技術(高度処理を除く)、②バイオガス回収技術、③バイオガス精製技術、④バイオガス発電技術に係る革新的技術を含むシステムについて、実規模レベルのプラントを設置して実証を行うため、本年3月1日～4月28日まで事業の提案を募集したところ、8者から提案がありました。下水道革新的技術実証事業評価委員会による厳正な採択審査の結果を受けて、実施事業を以下の通り決定しましたので、お知らせします。

※ B-DASH プロジェクト: Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project

### 1. 決定した実施事業

#### (1) 超高効率固液分離技術を用いたエネルギーマネジメントシステムに関する実証事業

実施者: メタウォーター(株)・地方共同法人日本下水道事業団 共同研究体

実証フィールド: 大阪市中浜下水処理場

事業概要: (別添参照)

#### (2) 神戸市東灘処理場 再生可能エネルギー生産・革新的技術実証事業

実施者: (株)神鋼環境ソリューション・神戸市 共同研究体

実証フィールド: 神戸市東灘処理場

事業概要: (別添参照)

### 2. 審査方法

提案された事業は、あらかじめ定めた審査基準に基づき、学識経験者からなる「下水道革新的技術実証事業評価委員会」において、提出された応募資料を審査し、上位事業を選定しました。この審査結果をふまえて、この2者の提案事業の採用を決定しました。

### 3. その他

「超高効率固液分離技術を用いたエネルギーマネジメントシステムに関する実証事業」および「神戸市東灘処理場再生可能エネルギー生産・革新的技術実証事業」は、実証フィールドとなる下水道施設を管理する地方公共団体の協力を得て実施します。

#### <問い合わせ先>

国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道企画課 白崎、金澤

TEL: 代表 03-5253-8111 (白崎(内線34162)、金澤(内線34134))

FAX: 03-5253-1596

Email: [kanazawa-jdw@mlit.go.jp](mailto:kanazawa-jdw@mlit.go.jp)

## 下水道革新的技術実証事業(B-DASH)実証事業の概要

### (1) 超高効率固液分離技術を用いたエネルギーマネジメントシステムに関する実証事業

徹底的な固液分離と資源回収を基本コンセプトに省エネ・創エネ両面から下水処理場全体をマネジメントする「エネルギー自給型下水処理場」を目指し、「超高効率固液分離」「高効率高温消化」「スマート発電システム」を組み合わせ、システムとして機能させることによる、温室効果ガス排出量削減および建設費・維持管理費削減効果を実証する。

### (2) 神戸市東灘処理場 再生可能エネルギー生産・革新的技術実証事業

地域バイオマスを下水処理場に受け入れてバイオガス発生量を増加させ、有効利用することによる温室効果ガス排出量削減を実証する。また、鋼板製消化槽、新型バイオガス精製装置、高効率ヒートポンプ等を組み合わせることによる建設費・維持管理費削減効果を実証する。